2025 年 4 月 10 日

研究課題名　　化学療法を施行した小腸癌・大腸癌症例における有害事象と予後に関する検討

1.研究の対象　　当センターにおいて小腸癌・大腸癌と診断され、2000 年 1 月 1 日～2027 年 12 月 31 日までの間に化学療法を受けた患者さん

2.研究目的　　本研究は、小腸癌・大腸癌にて化学療を行った患者さんにおいて、従来の臨床病理学的因子及び体組成と化学療法の副作用や予後との相関、化学療法の副作用と体組成変化との関係を明らかにすることである。また、術前化学療法中の副作用や体組成変化と術後合併症や予後、術後合併症や術前後の体組成変化と術後補助化学療法の副作用や予後についての関係も明らかにすることを目的とする。

方　　法　　当科において対象患者さんの臨床情報を集積し、調査及び検討する。

研究期間　　承認日～2030 年 12 月 31 日

3.利用するカルテ情報

患者背景:

年齢・性別・血液検査結果・併存疾患・身体機能・体組成測定値等

癌の診断に関する情報：

占拠部位・組織型・深達度・リンパ節転移・遠隔転移・遺伝子変異の情報等

治療に関する情報：

化学療法の内容・副作用・化学療法開始日・終了日・化学療法の効果手術日・術式・手術時間・出血量・術後合併症・入院期間・退院時の転帰等

治療の経過に関する情報：

生死・死因・最終生存確認日・再発・増悪の有無・再発及び増悪確認日等

尚、調査により得られたデータを取扱う際は、被験者の秘密保護に十分配慮する。特定の個人を識別することができないよう、対象患者に符号もしくは番号を付与する。対応表は自施設で厳重に管理し、自施設外に個人情報の持ち出しは行わない。

4.問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出下さい。
また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承頂けない場合には研究対象としませんので、下記連絡先までお申し出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先及び研究への利用を拒否する場合の連絡先

大阪市住吉区万代東３－１‐５６
大阪急性期・総合医療センター消化器外科
研究責任者：畑　泰司
電話　０６-６６９２-１２０１（代表）　FAX　０６-６６０６-７０３２